

町場地区園地の魅力発見! 其の二

11月16日町場地区園地で今年最後の探訪会「町場地区園地の魅力発見 其の二」が行われました。残念ながら肌寒い時折小雨の降る日となりましたが、参加された方々は、町場地区の魅力を発見する良い機会となりました。

講師は滴石史談会副会長の関敬一さん。(滴石史談会：1966年に設立：雫石の歴史を明らかにし、後世に伝える活動を実施)

前半は座学、後半は時折小雨の降る中、旧街道のあった状況を思い浮かべ園内を眺め、さらに安庭小学校の記念碑を見学しました。

関さんが作って下さった資料によると町場地区は以下のような特徴のある場所であるとのことでした。

- ◆三つの河川の合流点（南川と矢櫃川と雫石川：縄文時代にはすでに大小の集落形成）
- ◆東西南北に走る道路が交わる場所（盛岡・鶯宿線(山形街道)と雫石・紫波線）
- ◆山林での伐木を川に流し、下流で集めた場所(流送された木材の「待ち場」⇒「町場」?)

こういった歴史を持った場所故、町場地区園地の賑わいは当然なのかなと思いました。



探訪会で配付
した資料の
一部です



岩手山に向かって北にまっすぐ伸びる「コスモスロード」。実はこの道、<古(いにしえ)の道>なのです。

御所湖広域公園 11月探訪会

町場地区園地の魅力 其の二

平成26年11月16日(日)10:00~12:00

主催：県立御所湖広域公園指定管理者 KOIWAI ・ ご案内 滴石史談会 関 敬一

< 町場(まちば)地区 >

旧御所村(現雫石町西安庭)の町場地区は河川の合流点に位置し、いくつかの縄文時代からの遺跡があるなど大昔から開けた場所であったと思われます。また、藩政時代には伐採木材の川流しの集積地でもあり、東西南北に走る主要道が交差する交通の要衝でもありました。